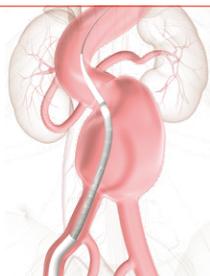


## 留置ステップ

### トランクイブシラテラル・レッグ

- 1 トランクイブシラテラル・レッグを目的の位置まで進める。



### トランクイブシラテラル・レッグのパーシャルディプロイメント

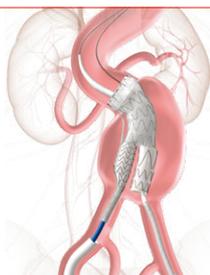
- 2 展開ステップ1: プロキシマルディプロイメントノブを反時計回りに回し、一定のスピードでノブを引く。

結果: トランクイブシラテラル・レッグのコントラテラル・ゲートまでの部分が展開される。中枢のステントのみ完全に展開され、トランクイブシラテラル・レッグは約70%の径まで展開される。イブシラテラル・レッグはこの時点では展開されていない。



### カニューレシオンとコントラテラル・レッグの展開

- 3 コントラテラル・ゲートにカニューレシオンし、イントロデューサシースをゲートまで進める。イントロデューサシースを通してコントラテラル・レッグをゲートまで進め、展開する。

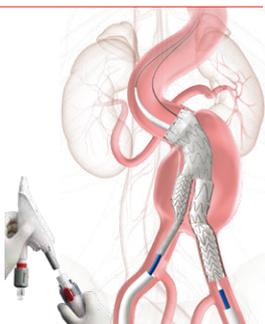


### コンストレイニングシステムの抜去とセカンダリースリーブの展開

- 4 操作: 赤いセーフティロックを引きながら、クリアーノブを反時計回りに回し一定のスピードで引き抜く。

結果:

- コンストレイニンググループ、ロックピンおよびセカンダリースリーブ・ディプロイメントラインが抜去される。
- トランク部分が完全に展開される。
- テンポラリーアタッチメントが解除される。

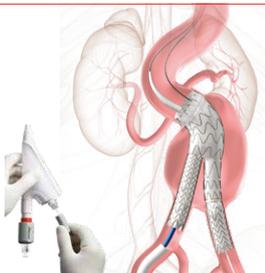


### トランクイブシラテラル・レッグの完全展開

- 5 展開ステップ2: ディスタルディプロイメントノブを反時計回りに回し、一定のスピードで引き抜く。

結果:

イブシラテラル・レッグが展開される。



## ポジショニング最適化のためのオプションステップ

### トランクイブシラテラル・レッグを拘束した状態での展開前のアンギュレーションコントロール

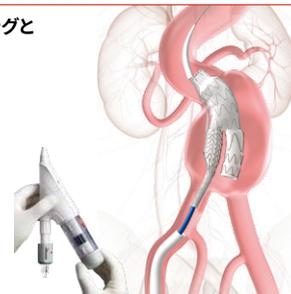
- 1a アンギュレーションノブを時計回りに回し、アンギュレーションワイヤーを前進させる。



### ポジショニングの最適化のためのリポジショニングとアンギュレーションコントロール

#### リポジショニングのみの場合

コンストレイニングダイヤルを時計回りに回し、トランクイブシラテラル・レッグの中枢側端を再拘束する。デバイスの位置を再調整した後、コンストレイニングダイヤルを反時計回りに回し、中枢側端を再展開する。



#### アンギュレーションコントロールの使用

コンストレイニングダイヤルを時計回りに回し、トランクイブシラテラル・レッグの中枢側端を再拘束する。アンギュレーションノブを時計回りに回し、アンギュレーションワイヤーを前進させる。

注意: アンギュレーションワイヤーを前進させた状態で、メインボディのカテーテルを回転させないこと。デバイスまたはカテーテルが損傷する可能性がある。

### オプションでのアオルタ・エクステンダーのアンギュレーションコントロールと展開

スティッフガイドワイヤーを通してアオルタ・エクステンダーを留置したい位置まで進める。もしアオルタ・エクステンダーにアンギュレーションをかける必要がある場合には、アンギュレーションノブを時計回りに回す。

展開を行う際は、プロキシマルディプロイメントノブを反時計回りに回転させ、一定のスピードで引き抜く。



アンギュレーションコントロールを実施していた場合には、レッドインジケーターが見えなくなるまでアンギュレーションノブを時計回りに回し、アンギュレーションワイヤーを完全に後退させてから慎重にデリバリーカテーテルを抜去すること。

#### 注意:

- デバイスが拘束されている状態において、360°を超えてカテーテルを回転させないこと。
- トランクイブシラテラル・レッグのパーシャルディプロイ後は90°を超えてカテーテルを回転させないこと。
- イントロデューサシースの中を通して、展開前のデバイスを抜去しないこと。
- 2回を超えて、デバイスの拘束/再展開を行わないこと。
- 5回を超えて、アンギュレーションワイヤーの前進/後退を行わないこと。

添付文書(電子化された添付文書)の警告及び使用上の注意欄を参照すること

